

住宅の高耐久化に向けて

JAS K3相当で保存処理したツーバイ材のご提案

枠組壁工法向けのツーバイ材にもAQ2種(JAS K3相当)で保存処理ができることをご存知ですか

長期優良住宅を申請するうえで、外壁を非通気構造とした建築に保存処理が必要な部材で戸惑うことはありませんか。当社では劣化対策等級3で求められるAQ2種(JAS K3相当)の保存処理をツーバイ材にも行うことができます。

1 SPF、ベイマツ、スギなどのツーバイ材へ深浸潤処理を行うことにより、AQ2種(JAS K3相当)の保存処理性能を付与することができます。
(SPFのAQ2種は業界初)

深浸潤処理の動画はこちら



2 204(38×89 mm)、206(38×140 mm)など様々なサイズに対応できます。
(対応可能な寸法の詳細は営業担当へお問い合わせください。)

3 処理による寸法変化がなく、高い寸法精度を実現できます。



※薬剤を均等に浸透させるため、木材の表面に傷をつける「インサイジング加工」が必須となります

